

# 平成28年度一般会計決算 1億9,796万円の黒字決算となる

認定

決算審査

平成28年度の奥出雲町各会計決算について、決算特別委員会を開催しました。代表監査委員からの監査報告を踏まえ、執行部全課室長に出席を求め補足説明確認ののち、詳細に質疑を行い賛成多数で認定しました。質疑の一部は以下のとおりです。

区分	平成28年度
歳入総額 (A)	161億9,886万円
歳出総額 (B)	158億7,202万円
歳入歳出差引額 (A) - (B) = (C)	3億2,683万円
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	1億2,887万円
実質収支 (C) - (D)	1億9,796万円

- 実質公債費比率 14.4%  
(前年度に比し3ヶ年平均で0.6ポイント改善)
- 経常収支比率 88.6% (低いほど財政の弾力性がある)



☆決算額の中で大きな割合を占めた  
仁多庁舎 11億1,428万円      八川小学校 5億8,005万円

**景山利則委員**

実質公債費比率が14.4%となっていて、県の指導はこの率をもっと下げろと言っているのか。財政の中身がよくなればなるほど、町民の満足度はマイナスとなる。財政状況と町民の満足度は反比例することになるが。

企業財政課長 実質公債費比率もだが、町債だけでなく、債務負担の状況、そして、将来にわたって負担すべき将来負担比率も判断基準のひとつになる。そして交付税も減っていくので、それらの数値を見ながら事業を進めていきたい。

藤原和範委員 繰入金が54.5%増えている。そして交付税も減になる状況からして今後の考えは。

企業財政課長 繰入金増の要因は、財政調整基金からの受け入れが増えたことである。毎年同じような事業量をやっていくことは今後不可能になる。

事業の取捨選択と知恵を出しながら事業運営を行っていく。

内田雅人委員 情報通信協会へ、980万円の支出だが、先日の台風のときなどの非常時は再放送など流

さすがに、地域のケーブルテレビとして防災対応をとり、タイムリーに住民に本当に必要な情報を出すべきだ。総務課長 情報通信協会で緊急な体制をとり、災害に備えるというのはたぶん無理だ。民放やNHKで情報収集して頂きたい。

●14事業特別会計の決算状況はいずれも黒字決算

一般会計から14事業特別会計への繰出総額は、18億9,819万円で対前年度比較で6,123万円の増となりました。

主なものは、奥出雲病院事業4億6,918万円、農業集落排水事業3億9,160万円、簡易水道事業3億2,622万円、後期高齢者医療保険事業2億7,734万円などで、14事業特別会計の総合収支はいずれも黒字決算となりました。